

令和4年度第2回四街道市総合計画審議会 会議録

日時 令和4年11月14日（月） 14時00分～15時45分
場所 四街道市役所新館5階第1会議室
出席委員 大下委員 市川委員 日野委員 栗田委員 土井委員 石河委員
藤本委員 木本委員 鈴木委員 舛田委員
欠席委員 宮下委員 北村委員 松吉委員 宇田川委員
事務局出席者 石渡経営企画部長 能勢副参事 荒巻政策推進課長 木村企画係長
落合主任主事 岡田主事 市川主事
傍聴人 0人

——会議次第——

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 会議の公開・非公開
4. 議題
 - (1) 四街道市総合計画後期基本計画進行管理（令和3年度実施事業）の報告について
 - (2) 第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理（令和2・3年度実施分）の報告について
 - (3) 地方創生に係る交付金の報告について
 - (4) その他
5. 閉会

——会議の内容——

1. 開会

【事務局】本日は、公私ともにご多忙の中、令和4年度第2回四街道市総合計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。これより、令和4年度第2回四街道市総合計画審議会を開会いたします。本日は、委員定数14名のうち10名が出席しておりますので、会議が成立していますことをご報告させていただきます。

また、本日の会議につきましては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、窓開けによる換気や、アクリルパーテーションの設置を行っておりますが、会議時間の短縮についても感染拡大防止に効果が見込まれることから、1時間半程度の会議時間とさせていただきます。

それでは会議に先立ちまして、大下会長よりご挨拶をいただきたいと思います。大下会

長、よろしくお願ひいたします。

2. 会長あいさつ

【大下会長】～あいさつ～

【事務局】ありがとうございました。この後の会議の進行につきましては、四街道市総合計画審議会条例第6条第3項により、会長が議長となることとなっておりますので、大下会長にお願いいたします。大下会長、よろしくお願ひいたします。

3. 会議の公開・非公開

【大下会長】それでは、これより進行を務めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

まず、会議録の作成についてですが、「四街道市審議会の会議の公開に関する指針」により審議会は、会議録を作成することとなっております。

なお、会議録における発言者名については、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、原則として明記することとなっておりますので、本審議会においても明記する取扱いとしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【各委員】～承認～

【大下会長】それでは、会議録には発言者名を明記することといたします。会議録は事務局が作成することとし、出席委員を代表して土井委員、鈴木委員に会議録の内容確認をお願いしたいと思いますのですが、委員の皆様いかがでしょうか。

【各委員】～承認～

【大下会長】土井委員、鈴木委員よろしいでしょうか。

【各委員】～承認～

【大下会長】それでは、会議録の内容確認を土井委員、鈴木委員にお願いいたします。

続いて、本日の会議の公開・非公開につきましては、「四街道市審議会の会議の公開に関する指針」により、公開とさせていただきます。

また、会議資料につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」

の規定により、傍聴人の閲覧に供するものとしますが、このうち、会議次第につきましては、配布するものとしたします。その他の資料につきましては、本審議会の判断によるものとされておりますが、配布を行わない資料の例示として、「図面・地図・写真・冊子による報告書等、個別に配布することが経費等の関係で困難と認められるもの」とされており、その他の資料については、冊子による報告書と類型されるため、会議終了後に回収することとしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

【各委員】～異議なし～

【大下会長】それでは 本会議は「公開」とし、傍聴人に会議次第を配布、その他の資料については会議終了後に回収することとします。

事務局は傍聴の方がいらっしゃいましたら、入室させてください。

【事務局】傍聴人はおりません。

4. 議題

(1) 四街道市総合計画後期基本計画進行管理（令和3年度実施事業）の報告について

【大下会長】それでは、議題（1）について事務局より説明をお願いします。

【事務局】～議題（1）について 説明～

【大下会長】ただ今説明のありました、総合計画後期基本計画進行管理についてですが、後期基本計画の計画期間は令和5年度までです。進捗の芳しくない事業については、新型コロナウイルス感染症の影響のほか、当初から来年以降に実施予定のものもあるかと思えます。よって、事業の進捗を判断するにあたっては、総合的な判断が必要になるかと思えます。そのことを踏まえ、次期計画に向けて、事業の取組や評価方法などについて、委員の皆様からご意見等をお願いいたします。

【栗田委員】事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響があったと思えます。その中でも、施策指標として見れば芳しくなかったが、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、目標達成に向けて取り組んだものがあれば、教えてください。

【事務局】新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中でも、オンラインを活用し事業を継続した事例として、男女共同参画推進事業がございます。基本目標6の施策指標「男女共同参画フォーラム参加者数」については、対面での参加者数を計上しておりますが、令

和2年度より新型コロナウイルス感染症に配慮し、男性のための料理教室を対面ではなく、ホームページや市政だよりに料理レシピを掲載することで実施いたしました。

【栗田委員】各課では新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、様々な工夫をして事業を実施していると思います。数値のみに目を向ければ進捗してないとも判断できますので、コロナ禍であっても努力をしているところを市民に伝えられる工夫や表現があるといいと思いました。

【大下会長】総括の施策指標の進捗状況を見ると、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、進捗なしとなっているところがあります。一方、事業の実施状況を見れば、210事業中194事業で進捗が見られました。特に基本目標3は施策指標上では10指標のうち進捗は1指標となっていますが、事業の実施状況は36事業のうち34事業が実施となっています。新型コロナウイルス感染症の影響で指標の目標値がクリアできずとも、事業は実施していることを市民が理解できるような記載方法などを、次年度以降に加えていただくと、より分かりやすいと思います。

【鈴木委員】表の見方についての質問です。政策事業費について、記載があるものとないものがあるのはなぜでしょうか。

【事務局】政策事業費から説明させていただきます。後期基本計画では全210事業を進行管理対象事業と位置付けていますが、このうち、投資的経費、建設に関する事業、新しい工事、大規模な工事など新規の取組を実施する68事業に政策事業費が計上されています。よって、全210事業に政策事業費が計上されているわけではございません。

【鈴木委員】政策事業費に金額の記載がない事業は、政策事業費の計上がされていない、ということですね。

【事務局】計に金額が記載されていない事業は政策事業費が計上されていません。計に金額が記載されているが、令和3年度決算額が0円となっているものについては、政策事業費が計上されているが、令和3年度に政策事業費の支出がなかった事業です。

政策事業費については、よりわかりやすくするためにも、説明を加えることを検討いたします。

【藤本委員】補助金の交付を事業内容に記載している事業については、政策事業費の計上がありませんが、実施状況は実施となっています。これは、政策事業費が事業の歳出予算すべてではなく、別途計上されている歳出予算があるとのことですね。

【事務局】政策事業費は、財政上の名称である経常経費や政策経費とは別物になっておりますので、政策事業費の計上がない事業についても別途予算がついています。

【大下会長】政策事業費とは別に、事業の決算がわかる資料があれば分かりやすいかと思えます。

【事務局】政策事業費については、後期基本計画書の38ページをご覧くださいとわかりやすいかと思えます。政策事業費の内訳は、投資的経費、普通建設事業費など、新規事業にかかる経費等に財源を充てることとなっていますので、継続的に使う経費は政策事業費の対象外となっています。

事業ごとの決算額については進行管理の補足として、主要施策の成果報告書の掲載ページを特記事項へ記載しておりますので、併せてご覧いただければ、よりご理解が深まるかと思えます。

【舛田委員】人件費については政策事業費に含まれていないのですね。事業費の詳細な内訳がわかれば、人件費のみで賄っている事業などがわかり、職員の努力も一層わかりやすくなるのではないのでしょうか。

【大下会長】新型コロナウイルス感染症の影響や政策事業費については、次年度以降、説明を加えていただくとわかりやすいと思えますので検討をお願いします。

私から1点意見を申し上げますが、施策指標について、累計ではなく単年の数値で達成度を判断するものについては、次年度以降も数値を維持・向上できるようにお願いします。

また、進捗が芳しくなかった事業については、理由や次年度以降の取組について、推進本部でご検討いただくことを期待します。

(2) 第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理(令和2・3年度実施分)の報告について

【事務局】～議題(2)について 説明～

【大下会長】第2期四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理の令和2年度、3年度分、企業版ふるさと納税の令和3年度受入結果について、委員の皆様からご意見等をお願いいたします。

【木本委員】ふるさと寄附は、四街道市の財政に大きなインパクトを与えたものだと思います。インターネットで調べたところ、四街道市のふるさと寄附件数が順調に増えていま

したので、職員が非常に努力をされて、その成果が出ているのではないかと思いました。

これは正確な数値か不明ですが、平成27年度に3件だったふるさと寄附件数は、翌年度以降75件、220件、411件、463件、574件、1024件とほぼ毎年度倍増しており、素晴らしいと思いました。

一方、金額で見ると、令和2年度に1838万円寄附があったものが、令和3年度は1411万円に減っています。寄附件数はほぼ倍増していますが、寄附金額は減少しており、単価にしてみると、令和2年度は1件につき約3万2千円のところ、令和3年度は約1万3千円に減少しています。ふるさと寄附については、件数だけじゃなく寄附金額も重視してはいかがでしょうか。

また、今回ご報告いただいた企業版ふるさと納税は私が報告したふるさと寄附の実績には含まれていないのでしょうか。

【事務局】 ふるさと寄附と、企業版ふるさと納税は、異なる制度となります。

ふるさと寄附は、個人の方から寄附をいただき、返礼品を市から送付している事業です。件数については年々増えておりますが、金額については年によって大口の寄附が入ることがある関係で金額に差が出てしまうため、総合戦略の進行管理では件数で評価いたしました。

なお、先ほど木本委員よりお話いただいた、令和3年度のふるさと寄附金額1411万円につきましては、個人の方からいただいたふるさと寄附の金額となっており、企業版ふるさと納税の寄附金額は含まれておらず、総合戦略の進行管理における「ふるさと寄附の件数」にも企業版ふるさと納税の件数は含まれておりません。

【木本委員】 私が報告した令和2年度のふるさと寄附金額が多かった理由として、企業版ふるさと納税の寄附金額が含まれていたという可能性はありますか。

【事務局】 企業版ふるさと納税は令和3年度から始まった制度のため、木本委員よりご報告いただいた、令和2年度のふるさと寄附金額には含まれておりません。

令和2年度のふるさと寄附金額が多かった理由として、令和2年度は大口の寄附があったためであり、それに伴い寄附単価が高くなっております。

ふるさと寄附については、返礼品合戦の側面があり、ブランド牛や海産物に人気が集まっています。本市のふるさと産品も魅力的なものを揃えています。そういう事情もあって寄附金額が伸び悩んでおります。

【木本委員】 私が調べたところでは、令和3年度の四街道市の寄附金額は千葉県内54市町村中50位となっています。職員の方々が非常に頑張っているのはよく分かるのですが、より一層、頑張してほしいと思います。

【大下会長】まち・ひと・しごと創生総合戦略の第3期があるかどうかは分かりませんが、ふるさと寄附の件数だけではなく金額についても指標とするか検討をお願いします。

【舛田委員】企業版のふるさと納税についてですが、寄附をされた企業が、寄附受入対象事業を受注しているというケースはありませんか。

【事務局】寄附事業者が寄附受入対象事業を受注したことはありません。例えば、シティセールスロゴマーク制作事業は、全く分野が異なる会社が寄附を行っております。

【大下会長】私から1点意見を申し上げますが、総合戦略進行管理も同じく、施策KPIが目標値を達成していたとしても、目標年次に向けて維持し続ける必要がありますので、関係各部署にて引き続きご尽力いただくことを期待します。

（3）地方創生に係る交付金の報告について

【事務局】～議題（3）について説明～

【市川委員】医療関係者の立場から、意見させていただきます。新型コロナウイルス感染症の影響で、数年にわたって一般市民はもちろん、医療関係者もかなり困窮している状況で、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による補助は大変助かっていると思います。しかし、看護師等は現場の第一線で活躍しながらも、なかなか本人たちのお給料は上がらないという状況が続いており、経済的な支援を直接、市にお願いするわけではありませんが、看護師等がそういう状況に置かれていることを、今後も考慮していただきたいと思います。

また、私は看護学部で看護師を養成していますが、コロナ禍で臨地実習という現場で行う実習が制限されたまま、医療現場に出ていく状況が続いています。ウィズコロナに向けて社会環境が改善していても、まだまだ医療現場の環境は様々な問題点を抱えていますので、一度、皆様にご紹介したいと思って発言いたしました。

もう1点、結婚新生活応援事業補助金についてですが、交付要件の「夫婦ともに」の夫婦の考え方としては、男女なのでしょうか。パートナーシップについてはどうなっているのでしょうか。

【事務局】結婚新生活応援事業補助金については、国の交付金を使っており、制度設計も国の要件に沿った戸籍上の男女となっているため、パートナーシップは対象外となっております。

【市川委員】 今後、パートナーシップについて考慮していただきたいと思います。

【大下会長】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業について、付け加えさせていただくと、8つの事業効果については、国の例示する事業効果を参照の上、四街道市では、より市民に伝わりやすいよう詳細に設定したものです。

またこの中で、市川委員からお話がありました医療関係へ支援の効果としては、①感染拡大の防止につながった、⑤医療機関・医療従事者等への支援につながった等が挙げられますが、四街道市の特筆すべき点は、令和3年度に新しい生活様式への対応に効果があった事業が25.6%あることだと思います。全体の4分の1程が巧みな戦略のもとに、未来を見据えた意義のある事業として実施されたと思います。

【日野委員】 結婚新生活応援事業補助金のアンケート内容に、「自分たちの結婚が地域に応援されていると感じる」という設問があります。具体的にどういう形で応援されていると実感したのか、具体的な内容を別の機会でもヒアリングする機会があればよいのではないかと思います。

【大下会長】 この事業は今年も実施しているのでしょうか。また、今後何年間実施する予定でしょうか。

【事務局】 本事業は令和4年度も実施しております。今後の予定については、国の交付金を活用している関係で不確定ですが、四街道市としては子育てに力を入れておりますので、継続していきたいと思っています。

【大下会長】 新たな総合計画に向けては、好評な事業は継続して取り組んでいくことも重要だと思います。

【藤本委員】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業のオンライン学習PC購入支援事業について、今後、通信回線費用の支援はお考えでしょうか。もともと通信回線がないケースや、あっても授業を視聴するには通信環境が悪いケースもあると思いますがいかがでしょうか。

【事務局】 令和4年度についても国から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金をいただいておりますので、趣旨に沿って各種事業を実施しておりますが、現在は原油価格・物価高騰対応への支援を国から示されておりますので、そちらを優先して実施しています。したがって、現時点では、通信回線費用の支援は予定しておりませんが、いただいたご意見は担当課に報告させていただきます。

【大下会長】本日説明いただいた議題については、次年度以降、委員の皆様よりいただいたご意見を踏まえて、改善できるところは改善するよう検討をお願いします。

総合計画後期基本計画進行管理については、政策事業費や新型コロナウイルス感染症の影響があった事業などの記載が、わかりやすい内容となるよう検討をお願いします。

また、施策指標について、特に単年度毎の指標に関しては、今回目標を達成した場合であっても、継続的な目標達成をお願いするとともに、進捗が芳しくない事業については、推進本部において、改善に向けた議論・検討を行っていただくことを期待します。

まち・ひと・しごと創生総合戦略進行管理についても、施策指標について、特に単年度毎の指標に関しては、今回目標を達成した場合であっても、継続的な目標達成を期待します。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業については、原案を国の方に遅滞なく、提出していただければと思います。

(4) その他

【事務局】次回の総合計画審議会についてですが、総合計画基本構想骨子案をお示しする予定です。これまで実施いたしました総合計画策定に向けた各種調査や市民参加で伺ったご意見も含めて、総合計画基本構想骨子案を作成させていただきます。

会議開催日程につきましては、追って皆様にお知らせしたいと思います。

【大下会長】次回の会議開催日程は事務局より追って連絡があるとのことですが、皆様におかれましてはお忙しい中とは思いますが、ご参加いただければと思います。

それでは、そのほかにご質問等がないようでしたら、本日の議題はすべて終了いたします。皆様の円滑な会議運営へのご協力に感謝申し上げます。令和4年度第2回四街道市総合計画審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。

(以上)